

# 効果的な ICT導入のために

熊本県健康福祉部子ども・障がい福祉局  
障がい者支援課 サービス向上班

**1 ICT導入方針の考え方**

**2 障がい福祉の現場における  
ICT導入の検討手法**

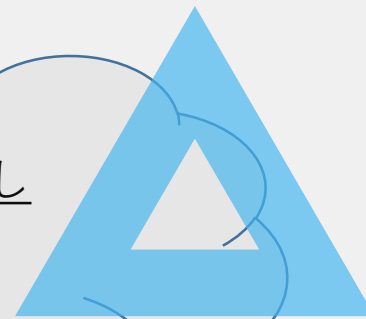
**3 ICT導入における注意点**

# 1 ICT導入方針の考え方

# 1 ICT導入方針の考え方

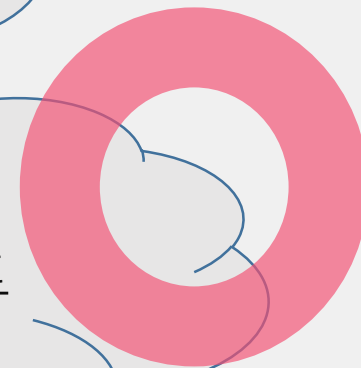


なんとなく便利そうだし  
うちの事業所でも  
**タブレット端末**を  
導入してみよう！



ハード先行

手作業でやっている  
〇〇業務を電子化するために  
職員にタブレット端末を  
配備しよう！



ソフト先行



目的を明確にすることでより効果的な導入が可能！

# 1 ICT導入方針の考え方

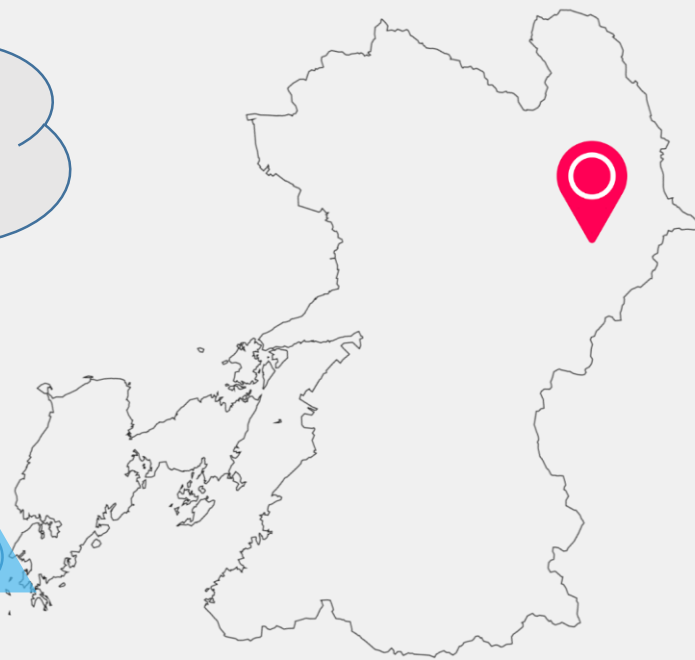
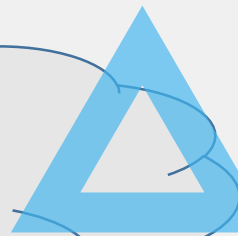
例えば・・・



新たにビジネスを  
始めよう！

北側復旧道路も整備  
されて便利になった  
**阿蘇**に  
土地を買おう

- ・阿蘇で始められる  
ビジネスが思いつかない...
- ・整備されたインフラをどう  
活用すればいいのだろう...



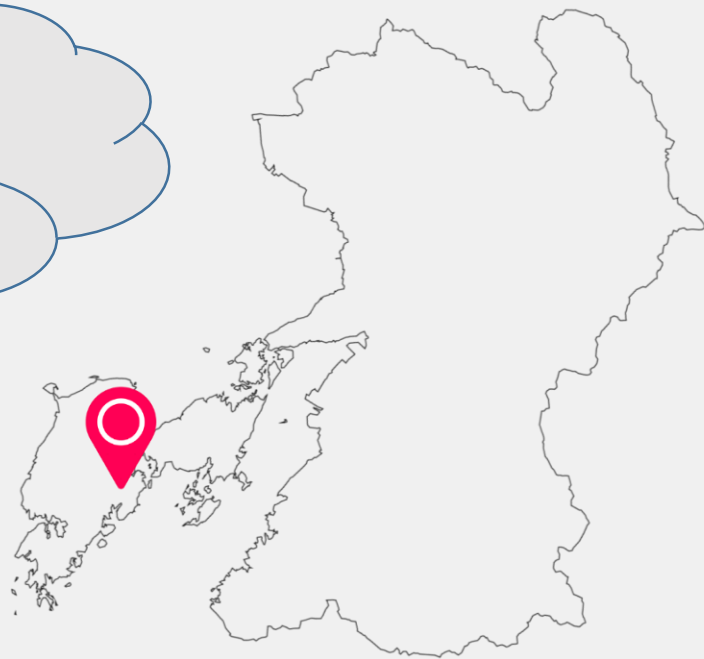
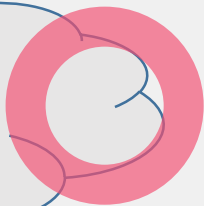
# 1 ICT導入方針の考え方



新たにビジネスを  
始めよう！

元水産業者としての  
人脈を生かして  
**クルマエビの加工**を  
ビジネスにしたい

土地は産地に近い  
**天草**で探そう！



「目的」意識を明確にする⇒モノの活用方法が明確になる

# 1 ICT導入方針の考え方

## 「Society 5.0」 「超スマート社会」を知っていますか？

→ 2018年に閣議決定した第5期科学技術基本計画において、これから日本が目指していくべき社会の在り方を定義した言葉

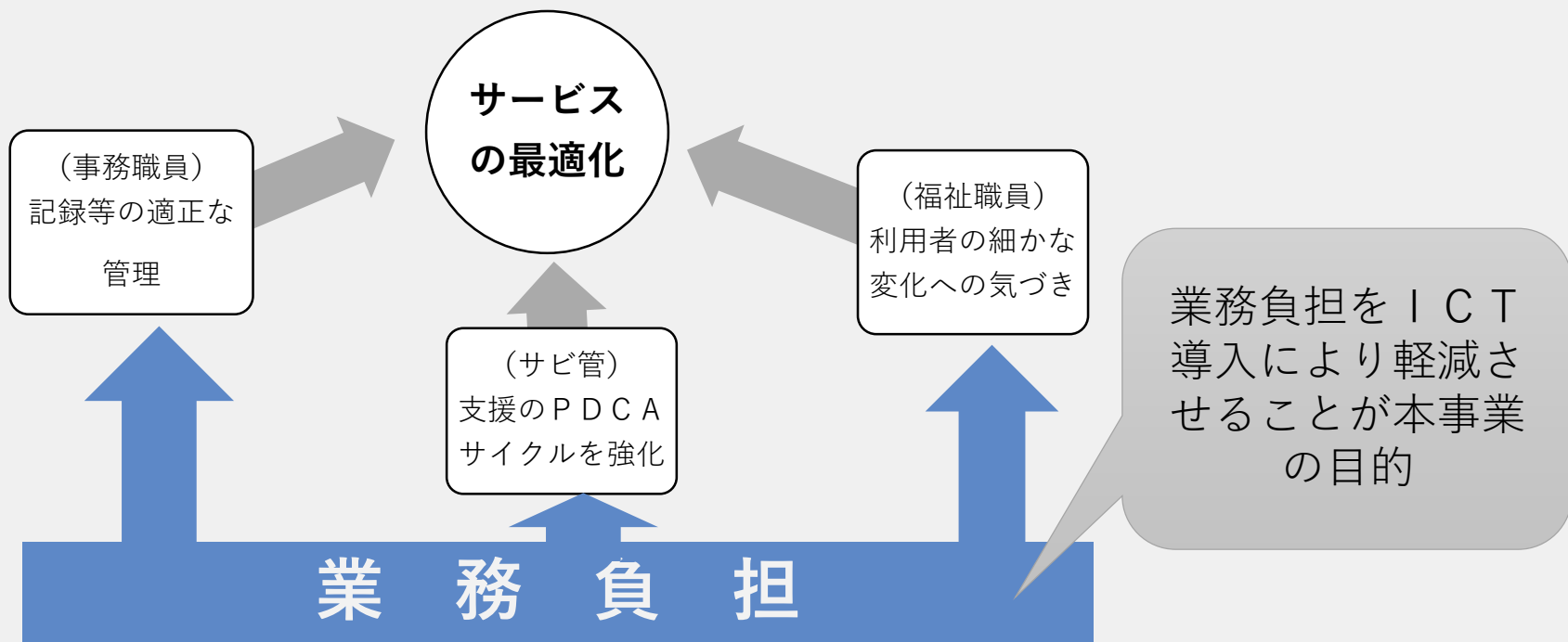
必要なもの・サービスを、  
必要な人に、必要な時に、必要なだけ提供し、  
社会の様々なニーズにきめ細やかに対応でき、  
あらゆる人が質の高いサービスを受けられ、  
年齢、地域、言語といった様々な違いを乗り越え、  
生き活きと快適に暮らすことのできる社会

(第5期科学技術基本計画より)

# 1 ICT導入方針の考え方

## 障害福祉分野でもサービスの最適化が求められている

- ・多様化する利用者が求める支援のあり方に対し、それぞれに応じたサービスの提供を行っていく必要がある。
- ・このような「サービスの最適化」を実現するためには、**職員の負担は増加**する。⇒業務効率化が必要





## 2 障がい福祉の現場における ICT導入の検討手法

### ICT導入の検討の流れ

- (1) 業務フローの整理
- (2) 業務における課題の検討
- (3) 業務改善の検討
- (4) ICT導入検討

## 2 障がい福祉の現場におけるICT導入の検討手法

十分な検討を行わずに  
導入してしまうと...

手書きの日報を  
PCで入力し直すのって  
非効率だなあ・・・。

**音声入力**や**文字認識入力**で  
入力の手間を減らせるかも！

入力内容の突合に時間を取られてし  
まう・・・使いにくい・・・



## 2 障がい福祉の現場におけるICT導入の検討手法

### (1) 業務フローの整理

「業務日報の作成」業務について考えると...

支援業務

日々の支援記録を日報に記載する

- 日々の支援の内容を、全て手書きで日報に記載する。

事務業務

支援記録をPC入力で電子データ化する

- 支援員が記載した日報を集め、利用者ごとの支援記録としてPC入力する。
- 月に一度、PC入力したものを出力し、利用者ごとのファイルに綴じこむ。

管理業務

支援記録を確認する

- PC入力された支援記録を確認し、必要に応じて福祉職員に対して指示や指導をする。
- 半年に一度、個別支援計画の作成にあたり支援記録をもとに今後の支援計画を検討する。

※事業所全体の業務フローを整理する。

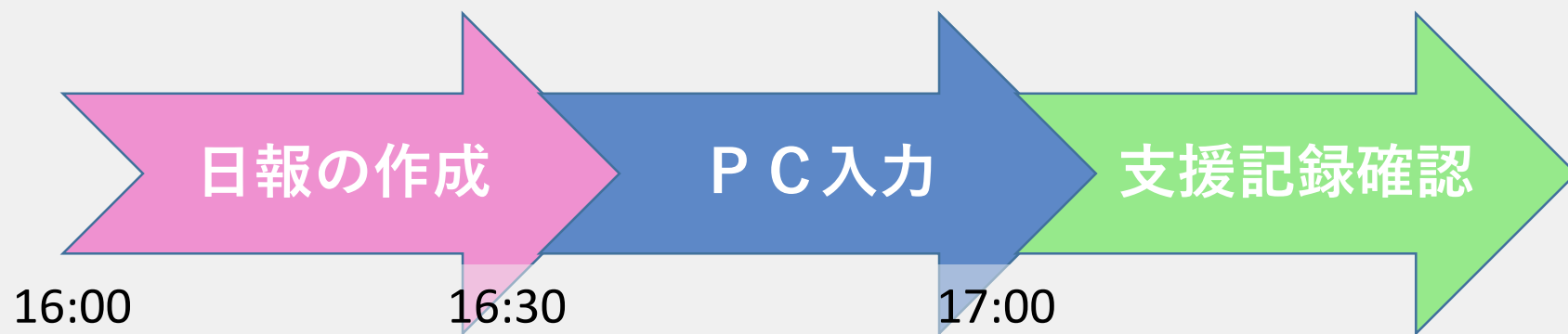
※業務フローは、業務改善目的に応じて1日単位～1年単位で整理する。

## 2 障がい福祉の現場におけるICT導入の検討手法

### (2) 業務における課題の検討

※業務フローを基に、業務課題を検討する。

(例)



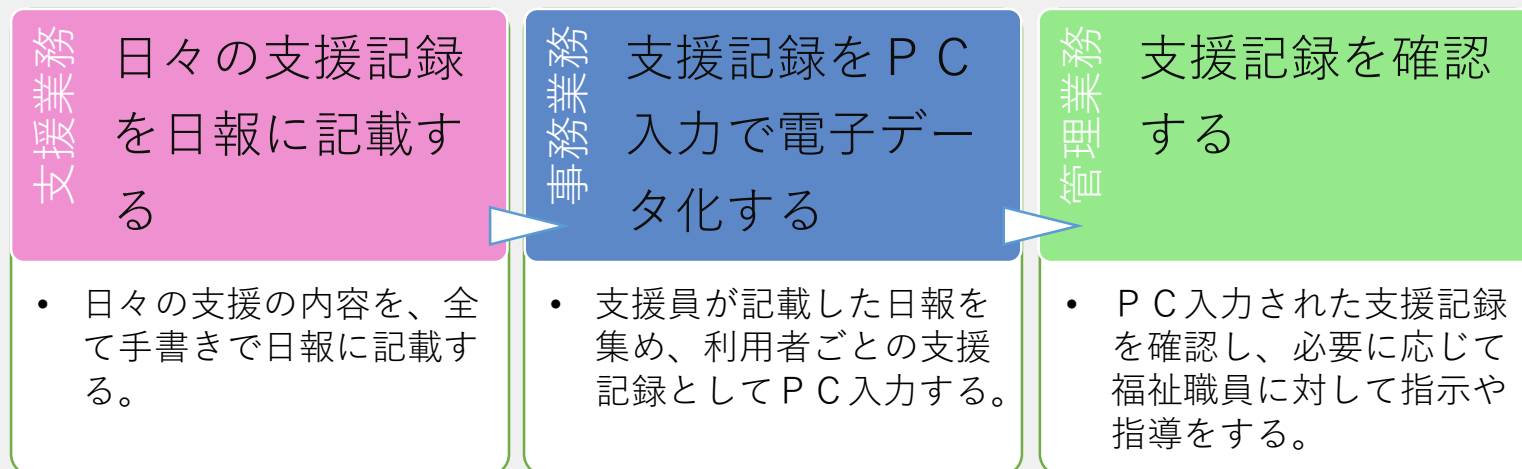
毎日の業務において  
**支援業務**・**事務業務**の  
**時間短縮**が課題

**管理業務**における  
**残業が慢性化**

## 2 障がい福祉の現場におけるICT導入の検討手法

### (3) 業務改善の検討

(例)



原因① 手書きとPC入力の**二度手間**

原因② 手書きで作成する日報の**記載項目が多い**

## 2 障がい福祉の現場におけるICT導入の検討手法

### (3) 業務改善の検討

(例)

**原因①** 手書きとPC入力の**二度手間**

⇒はじめから**電子データで支援記録を作成**する

**原因②** 手書きで作成する日報の**記載項目が多い**

⇒日報のフォーマットを  
**チェックシート形式**にする

## 2 障がい福祉の現場におけるICT導入の検討手法

### (4) ICT導入検討

導入にあたってのポイント

#### 導入するハードは必要最低限

- ・数量・機能ともに必要な分だけ
- ・必要以上の導入は経済的に無駄であるだけでなく、管理の手間、盗難やウイルス感染等のリスクの増大につながる
- ・優れた性能を持つ機器はランニングコストが余計にかかる場合もある

#### 自動化する業務は定型的な作業から

・コンピュータは「Yes-No」や「有-無」のような二者択一の判断の繰り返しで処理を行っています。文章で書かれた支援記録を読み込ませて統計を取る、という作業よりも、チェックシートで書かれた支援記録を読み込ませて統計を取るという作業の方が、コンピュータとしては圧倒的に処理がしやすくなります。



### 3 ICT導入における注意点

### 3 ICT導入における注意点

#### (1) 情報セキュリティの管理

個別支援計画や日々の支援記録も個人情報や遠隔で操作したり、情報資産を事業所外へ持ち出したりする場合には、取扱いには十分注意をし、外部への漏洩事故等が発生しないようにすること。

個別支援計画

支援記録



既往歴

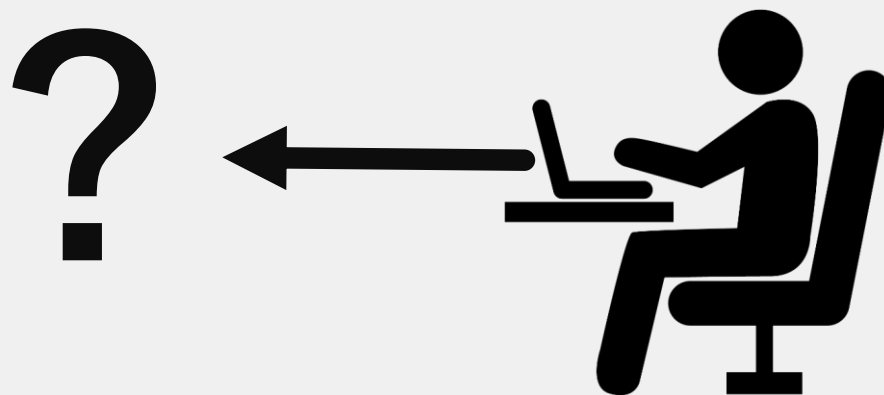
請求情報

### 3 ICT導入における注意点

#### (2) 技術頼りにならない

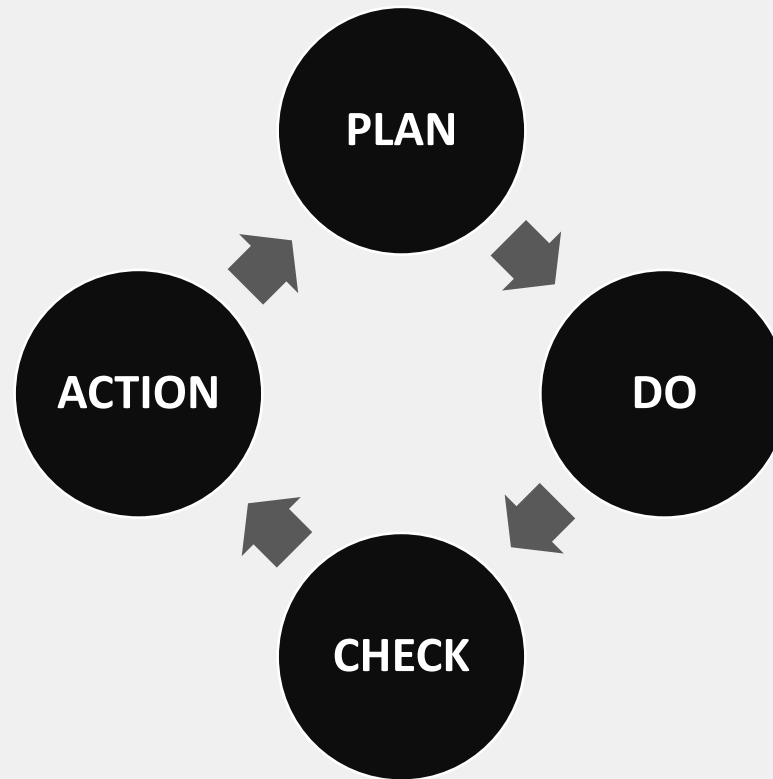
導入したICTによって、自分たちが扱っている情報が今どのように管理され、どのように運用されているのかを把握しておくこと。

※どのようにシステムが作動しているのか、その詳細を職員の誰も理解できていないと、予期せぬトラブルが起きたり、トラブルが起きた時に対処できなくなったりしてしまいます。



### 3 ICT導入における注意点

(3) PDCAサイクルを回す



### 3 ICT導入における注意点

#### (4) 指定基準、関係法令等を遵守する

業務改善によって、指定障害福祉サービス事業所における指定基準や関係法令等を違反することのないようにすること。

(例)

##### ① 人員基準

従業員がテレワークを行う場合

⇒人員基準違反となる可能性はないか？

人員基準上必要とされる職員は事業所内に配置されているか？

##### ② 運営基準

クラウドサービスを活用して支援記録を保管する

⇒クラウドサーバの故障等によるデータ紛失に備えているか？

(記録は5年間保存が必要)